

43 煙樹ヶ浜松林保全に貢献した吉原地区治山事業

和歌山県(美浜町)

全景写真



施工状況写真



松林と歩道写真



多目的広場写真



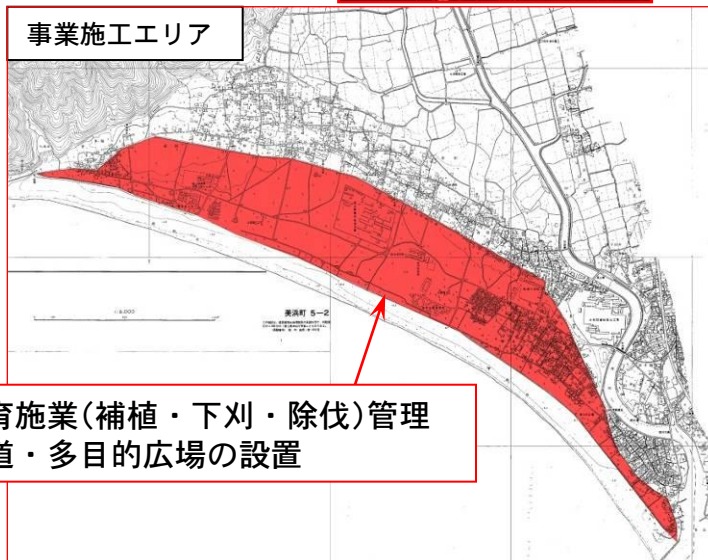
ボランティア写真



位置図



事業施工エリア



保育施業(補植・下刈・除伐)管理
歩道・多目的広場の設置

○所在場所

和歌山県日高郡美浜町大字吉原字大松原ほか

○施設・工法の概要

潮害防備機能を発揮する為の森林整備(植栽・保育)
保健・休養機能を発揮する為の遊歩道・多目的広場等の設置

○解説

煙樹ヶ浜松林は、紀州初代藩主徳川頼宣公の時代(1619年頃)にはすでに「御留山(おとめやま)」として、伐採が禁じられ、背後の日高平野一帯に広がる家屋や田畑を塩害や風害から守り続けてきました。

昭和30年代から松枯れ等がみられ、松林の健全な育成及び保全のために森林整備を行いました。また、レクリエーションや憩いの場としての利用を促進するために、遊歩道や多目的広場を設置しました。その後、周辺住民・ボランティア等の協力により、植樹・下刈活動、清掃等が行われています。

さらに近年では、町の産業との関わりとして、松葉の堆肥利用による「松キュウリ」「松トマト」の生産出荷が始まっています。